



**BLACK DRAGON  
WHITEPAPER**

## 目次／アウトライン

免責事項	1
概要	3
序説	5
ブラックドラゴン株式会社について	6
トークンの配分	6
ユーティリティトークン スマートコントラクトの主な機能	11
オリジナルウォレットの統合	12
ユーザーと著作権ウォレット	12
ブラックドラゴン NFT の追加作成	13
<b>3.0 ロードマップ</b>	<b>13</b>
プラットフォームの使用例	14
ブロックチェーンによるコンテンツ制作	15
テクノロジー	16
チャンネルの開発	16
機能	16
リスク	17
不確実な規制と執行措置	17
不十分な情報開示	17
才能の喪失	18
開発の失敗	18
セキュリティの弱点	18
その他のリスク	19

## 免責事項

このホワイトペーパーの内容においては、法律、金融、ビジネス、または税金を構成するものは何もありません。この件に関していかなる活動に従事する前に、各々個人的にこのホワイトペーパーについて、法律、金融、ビジネス、もしくは税金に関してそれぞれの分野の専門家と相談するべきです。マネージメント又はブラックドラゴンリソースカンパニーズ株式会社（財団）、（ここで定義されている）ブラックドラゴンプラットフォーム、又はいかなるプロジェクト開発に取り組んだプロジェクトチームメンバー（ブラックドラゴンチーム）、ブラックドラゴンのディストリビューター/売り手（ディストリビューター）、又いかなるサービスプロバイ

ダーにおいては、このホワイトペーパー、ウェブサイト <http://www.blackdracos.com/> (ウェブサイト)、またはその他のウェブサイトもしくは財団が発行した資料に関連したアクセスによって、お客様個人が被る可能性のある、あらゆる種類の直接的もしくは間接的な損害または損失に関しての責任は一切負いません。

すべてのコメントまたは懸念は、芸術の価値を保護および利益化するブロックチェーン基盤のインフラストラクチャーレベルのプラットフォームの研究、設計、開発、および提唱を推進、促進し、法に準拠した自律的な芸術作品の起源からの統合に向けて取り組んでいます。

このホワイトペーパーは、一般的な情報提供のみを目的としており、目論見書、オファードキュメント、証券のオファー、投資の勧誘、または製品、オファーアイテム、または資産の販売のオファーを構成するものではありません (デジタルまたはその他にしても)。このホワイトペーパーのいかなる部分も、ブラックドラゴンリソース株式会社からの事前同意書無しに、コピー、複製、配布、または普及することは一切禁じられています。以下の情報は網羅的ではなく、契約関係の要素を意味するものでもありません。そのような情報の正確性または完全性についての保証はなく、そのような情報の正確性もしくは完全性に関して提供されることを表明、保証、または約束するものではありません。このホワイトペーパーに含まれているサードパーティーから入手した情報の正確性または完全性について、ブラックドラゴンリソースカンパニーズ及び/もしくはブラックドラゴンチームとしては独自に検証していません。さらに、ご承知の通り、状況が変化する可能性があり、その結果このホワイトペーパーに記載されている情報が古くなるかもしれません。よって、この会社としては、これに関してこの文書を更新または修正する義務を負いません。

このホワイトペーパーまたはその一部にアクセスすることによって、お客様個人として、以下の通り財団、関連会社、およびブラックドラゴンチームを代表し、保証することになります。

- (a) いかなるブラックドラゴンを購入するか決断する際、このホワイトペーパーに記載されている、どのステートメントにも依存していません。
- (b) (場合によっては) あなた個人として、自己負担で、適用される全ての法律、規制要件、および制限を確実に順守するものとします。
- (c) ブラックドラゴンにはかちがない可能性があり、ブラックドラゴンの価値や流動性の保証や表象はなく、およびブラックドラゴンは投機的な投資ではないことを認め、理解し、同意するものとします。
- (d) 財団、その関連会社、および/またはブラックドラゴンチームメンバーのいずれも、ブラックドラゴンの価値、ブラックドラゴンの譲渡可能性および/または流動性、および/またはブラックドラゴンの市場の利用可能性に関しての責任は一切ありません。
- (e) あなた個人が市民、国民、居住者 (税金またはその他)、居住地、および/またはグリーンカード保有者であっても、その地理的エリアまたは国において (i) ブラックドラゴンの販売が証券販売または投資商品と解釈される可能性が高い場合 (名称に対して) および/または (ii) 適用される法律、法令、規制、条約、または行政法により、ブラックドラゴスのトークン販売またはブラックドラゴンプラットフォームへのアクセスまたは参加が禁止されている場合、および/または (アメリカ合衆国、カナダ、ニュージーランド、中華人民共和国、大韓民国を含みますが、これらに限定されません) の場合、いかなるブラックドラゴンを購入する資格がないことを認め、理解し、同意するものとします。

このホワイトペーパーにおいて、特定の企業およびプラットフォームの参照は、説明のみを目的としています。

このホワイトペーパーは、英語以外の言語に翻訳される場合があります、このホワイトペーパーの英語版と翻訳版の間に矛盾または曖昧さが生じた場合、英語版が優先されます。あなた個人は、このホワイトペーパーの英語版を読んで理解したことを認めます。

## 概要

ブラックドラゴンプラットフォームは、商品価値の保護と収益化をサポートするテクノロジーおよび芸術的商品取引の未来を目指しています。ブラックドラゴンプロジェクトの場合、資産の具体的な価値を中心に開発し、ブロックチェーンとデジタル NFT に記録された物理的なアイテムを提供する機能を意味します。

このプラットフォームにおいては、BDGR トークンは、プロジェクトクリエイターが独自の価値のあるオリジナル作品の物理的なアートコレクションとその著作権に裏付けされた芸術的な NFT とコンテンツ関連の NFT を収集して操作するために使用されます。

ブラックドラゴンは、競合他社やその製品の利点と特性を全て取り込む形で開発されていますとともに、ブロックチェーンと金融技術で担保された新たな価値領域へと移行していきます。

ブラックドラゴンプラットフォームのブロックチェーンデータベースとブラックドラゴンが開発したスマートコントラクトは、混沌としたアート界の歴史を整理し、より多くの人に知ってもらうための新たな手段であり、成長するデジタル市場において、価値の高いコンテンツやエンターテインメントを流通させることができます。

ブラックドラゴンプラットフォームは、ポリゴンネットワーク<sup>1</sup>をベースとした著作権のトラッキングと交換を行う DAPP ソリューションとして設計されています。

また、ユーザーは、ブラックドラコス・トークンを分散型コンテンツ著作権交換のためのユーティリティ・トークンとして利用することができます。著作権や規格書の情報は、ポリゴン・ブロックチェーン<sup>2</sup>に格納されます。

コンテンツクリエイターやコレクターは、ブラックドラゴンウォレットと関連アプリケーションを使って自分の利益を保持したり、譲渡したりすることができます。

## ブラックドラゴン ホワイトペーパー **V2.3.3**

---

<sup>1</sup>ポリゴン、旧マティックネットワーク

<sup>2</sup>ポリゴン、ブロックチェーンのスケラビリティプラットフォームとイーサリアムと互換性のあるブロックチェーンネットワークを接続・構築するためのフレームワーク

## 1. 序説

OpenSEA や BAYC のようなプロジェクトの紛れもない成功は、アートとコンテンツの世界における変化の速さを示す指標となるものです。何十億ドルもの価値が NFT を通じて、デジタル経済における新技術とその活用に割り当てられ、私たちはまさに劇的な再編成を目の当たりにしています。

この価値の伸びは 2021 年の強気相場をそのまま反映しており、デジタル資産とアートの次の進化と見なす人々がいるように、とてつもなく大きな機会が残っていることを示しています。

コラボレーションと価値の分配を通じて、トークン化された市場、そしてブロックチェーンのユーティリティはトークンそのものが、Uber や Airbnb と同様に、既存のビジネスモデルを破壊する存在になると予測されます。

ブロックチェーン上に構築することで、芸術と商業をめぐる日進月歩の流れの変化に対応するための新しいツールセットをブラックドラゴンプラットフォームに提供します。

ブラックドラゴンプラットフォームは、株主の利益になるように構成されています（現行の規制環境に従う）、データおよび価値の取得と記録のために確立された手順によって、ブラック・ドラコス・トークンの配布は、アクセス可能な方法で行うことを目指しています。

このプロジェクトの経済性と利益を完全に実行するためのステップには、ブラックドラゴンの資産のデータベースと、BDGR のコンテンツと価値を市場に提供するインセンティブを与える財源ネットワークが含まれます。

ブラックドラゴンプラットフォームは、新しい価値とコミュニティのインフラ構築を開始しました。

今後数ヶ月の間に、ブラックドラゴンチームは、ブラックドラゴンのテクノロジーの幾つかの側面をオープンソース化し、ブラックドラゴンのプラットフォームの API をリリースし、ブラックドラコストークンの配布を開始する予定です。読者の皆様におかれましては、ブラックドラゴンプラットフォームに参加され、ブラックドラゴンプラットフォームのコミュニティが共有するビジョンの構築に協力して頂くようお願い致します。本稿では、美術館、組織、アーティストによるアートの所有・管理方法を再編するためのブロックチェーンベースのソリューションとして、ブラックドラゴンプラットフォームを紹介しています。



## 1.1 ブラックドラゴン株式会社について

ブラックドラゴン株式会社(当社)は、米国で登記されており、プロジェクトの開発、マーケティング、コミュニティ形成の機能を担っています。Web3 に統合されたクラウドプロバイダー(AWS、GCloud、Axure など)上で作動するアプリケーションは、モバイルデバイス用のユーティリティ、API インテグレーション、サードパーティデータを含むブラックドラゴンのプラットフォーム開発サービスのバックボーンを構成しています。ブラックドラゴスのネイティブトークンは、アプリケーションレイヤーとアイデンティティを結びつけ、マーケットプレイス内で利用できる製品を検証します。考えられる結果は革新的ですが、ブラックドラゴンのチームは、組織の基本原則によって調整された堅固な分散型市場を確立するよう、そのような製品を展開する為に計算されたアプローチを採用しています。

このブロックチェーンネットワークを開発するための有機的なアプローチは、ブラックドラゴコストークン保有者のコミュニティは、テクノロジーの専門家や商取引のリーダー、さらにはコンテンツの専門家やクリエイティブアートの支援者など、多様なフィールドに広がっています。

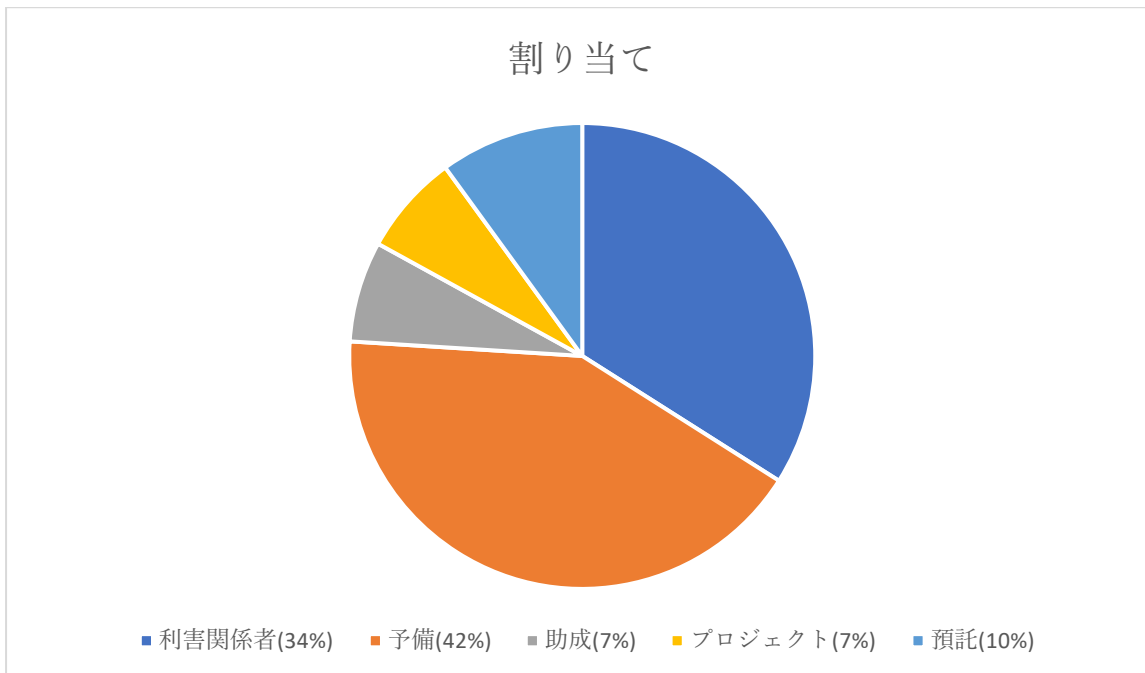
プロジェクトの一部の資産または開発は、その分散型の性質によりプロジェクトの監視の範囲外になる可能性があります。会社の指導とリーダーシップは、グローバルコミュニティを受益者とする市場の舵取りを目指しています。

ネットワーク上で提供されるコンテンツや創作物については、アーティストやコンテンツのプロデューサーの見解は独自のものであり、当社を代表するものではなく、ブラックドラゴンが制作しているプラットフォームとはまったく関係ありません。

## 1.2 トークンの配布

ブラックドラゴコストークンの最初の受領者は、当社が定める保管人とします。概説した目的は、まず最初にブラックドラゴンを株主に配布し、投資家への対応チャンネルを構築して、ブラックドラゴンプラットフォームにネットワークを導入することです。

## Allocation (割り当て)



## Black Dracos Tokens (ブラックドラコストーン)

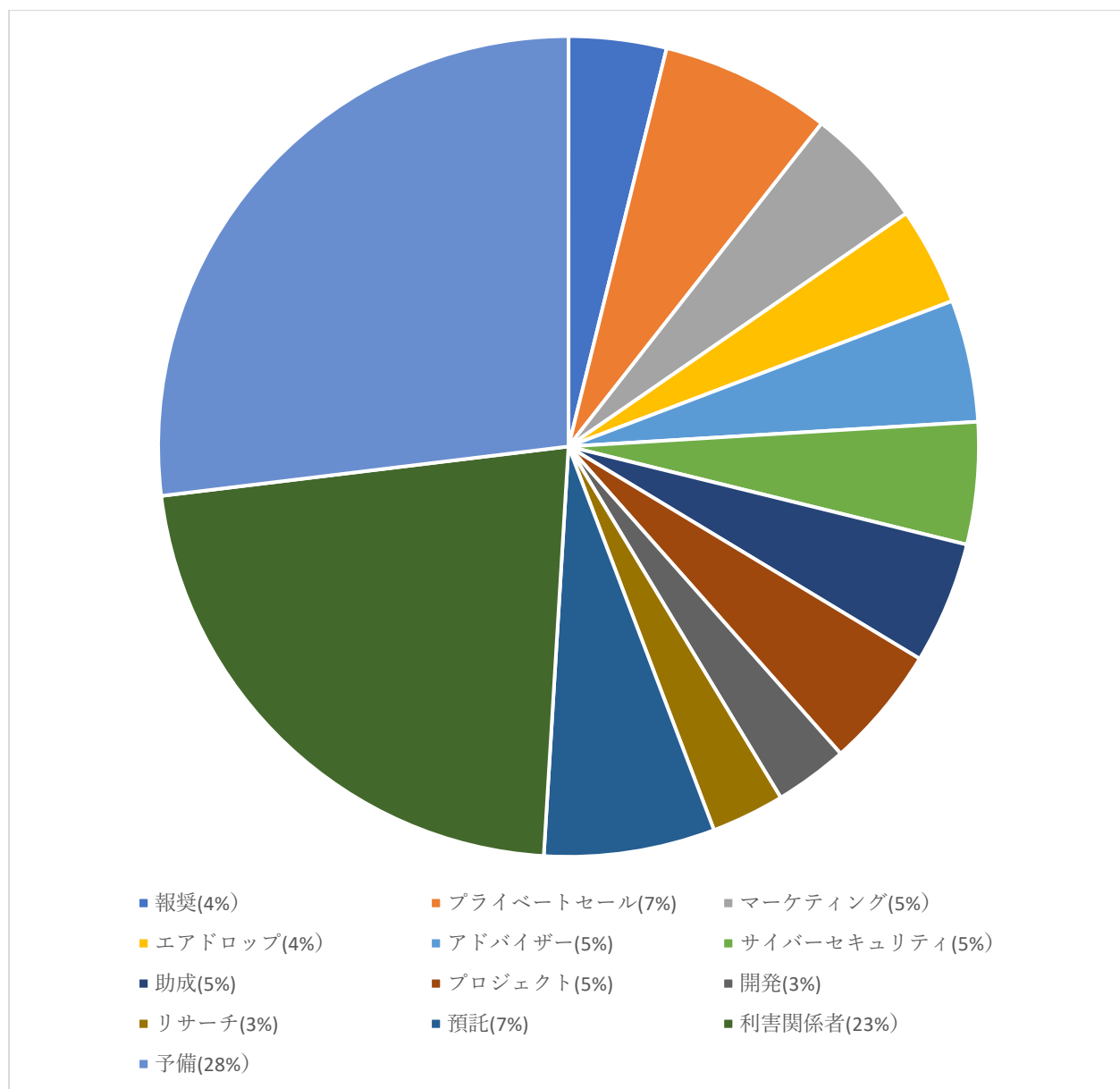
60,000,000,000	34%	20,400,000,000	利害関係者
	42%	25,200,000,000	予備
	7%	4,200,000,000	助成
	7%	4,200,000,000	プロジェクト
	10%	6,000,000,000	預託



## 60,000,000,000 Minted (造幣)

- 34% BDGR および PRPM 株主への分配 (焼成または交換のための再分配の対象)
- 42% 予備
- 7% 助成
- 7% プロジェクト
- 10% 預託

これらの数値は、プロジェクトの進展に応じて変更される可能性があります。



	%	合計
<b>60,000,000,000</b>		
利害関係者	34%	20,400,000,000
予備	42%	
報奨	6%	3,600,000,000
プライベートセール	10%	6,000,000,000
マーケティング	7%	4,200,000,000
エアドロップ	5%	3,200,000,000
アドバイザー	7%	4,200,000,000
サイバーセキュリティ	7%	4,200,000,000
助成	7%	4,200,000,000
プロジェクト	7%	
開発	≈4%	2,000,000,000
リサーチ	≈4%	2,000,000,000
預託	10%	6,000,000,000
	<b>100%</b>	<b>60,000,000,000</b>

BDGR は、ブラックドラゴンプラットフォームに不可欠な存在です。なぜなら、BDGR がなければ、鑑定された美術品や過去の伝説的な芸術家のためにサービスを提供するリソースと情報を持つ市場は存在しかねないからです。ブラックドラゴンプラットフォームのエコシステムは、没入型であり、テクノロジーに加え、物理的およびバーチャル NFT に似通った検証可能なドキュメントを備えています。

以下の図は、ブラックドラゴンの最初の 3,000 万トークンの「分配プール」で、概算の分布表を表しています。ブラックドラゴントークンのコストは、市場の需要によって変動すると思われます。

## 著作権&投資ウォレットの予約

- トークンは、オリジナルコンテンツの作成に伴い、ブラックドラゴンアプリユーザーに配布されます。
- スケーリングの配分：ユーザー数が 2 倍になるたびに、報酬は半分になります。
- 将来のパートナーシップのための投資準備金

## ユーティリティトークン スマートコントラクトの主な機能

ブラックドラゴンプラットフォーム（Black Dracos）のネイティブデジタル暗号化で保護されたユーティリティトークンは、ブラックドラゴンプラットフォームのエコシステムの主要コンポーネントであり、初期開発のプラットフォームでのみ使用されるように設計されています。

ブラックドラコス Black Dracos（BDGR）は、ポリゴンブロックチェーン上のデジタルトークンとして発行される予定です。ポリゴン Polygon は、スマートコントラクトを指向する分散コンピューティングプラットフォームです。ポリゴン Polygon は、エンドユーザーが取引のためのモバイルスマートコントラクトを構築することを可能にする分散型バーチャルマシンです。スマートコントラクトは、ポリゴン Polygon ブロックチェーン内に格納されるステートフルなアプリケーションです。これらの契約は暗号的に安全であり、自動的に検証または強制することができます。トークン契約は、ポリゴン Polygon エコシステムの標準機能です。

ブラックドラゴン Black Dragon は、ブラックドラゴンプラットフォーム Black Dragon Platform の参加者間の交換単位となり、アプリケーションの Web3 レイヤーとのやりとりに使用される機能的なユーティリティ・トークンです。

BDGR 導入の目的は、便利で安全な決済手段を、ブラックドラゴンプラットフォームにおけるエコシステムの中で交流する参加者の間に提供することです。ブラックドラコス・トークンは、当社、その関連会社、またはその他の会社、企業、事業におけるいかなる株式保有、参加、権利、所有権、または利益を示すものではなく、ブラックドラコスはトークン保有者に手数料、配当、収入、利益、または投資収益の約束を与えるものではなく、関連法域において証券を構成することを意図するものではありません。ブラックドラコス Black Dracos は、暗号通貨ペアや市場でのパフォーマンスが実現されるため、ブラックドラゴンプラットフォームだけでなく、他の取引所でも利用することができます。

### 2.1. オリジナル・ウォレットの統合

Metamask はブラックドラコスのメインウォレットであり、他の多くのオリジナルウォレットと同様に機能します。開発中のリソースはこのウォレットに取り込まれ、トークン経済と NFT をネットワークに配布するために会社の憲章の中で使用されます。<sup>3</sup>

---

<sup>3</sup> 現在、Metamask は NFT カタログと統合され、サポートされているウォレットです。

## 2.2 ユーザーと著作権のウォレット

ユーザーや管理者が新しいコンテンツを铸造する度に、ブラックドラゴンプラットフォームをサポートするスマートコントラクトは、ユーザーのコピーライトウォレットにトークンを配信します。これは、美術館、組織、アーティストによるアートの所有と管理の方法に関する新しいシステムのベースラインを説明するものです。

この取引には、ポリゴン・ブロックチェーンに記録される情報の流れが含まれています。

- 著作権データおよび国際規格
- コンテンツ公認アップローダー
- アップロード時間は他のチェーンより速い
- アップロード先がユーザーのウォレットにあること
- NFTにあるコンテンツのメタデータ

コンテンツと NFT の権益の譲渡について、プラットフォーム内およびユーザーウォレット間で、このブロックチェーン記録を現在の著作権所有者から新しい著作権所有者に移行することにあります。

## 2.3 ブラックドラゴン NFT の追加作成

ブラックドラゴンの新しいトークンや NFT のリクエストは、それぞれ取引手数料を発生させ、その手数料は「手数料プール」に集められ、配信されます。

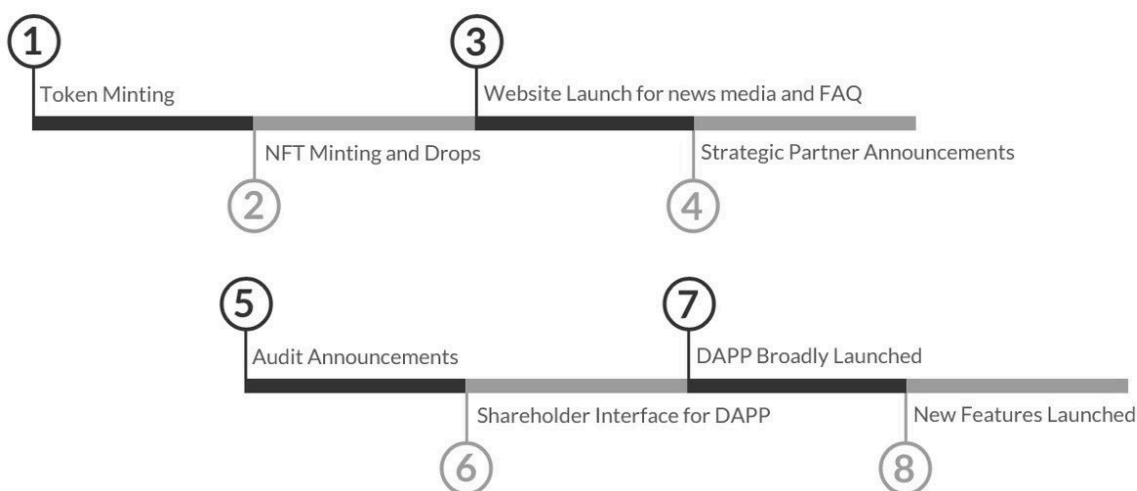
プールが管理者によって設定された値に達すると、いつでもより多くのブラックドラゴン NFT を作成/铸造し、在庫に追加することができます。

既存の製品カタログに対応するため、当社は迅速にインキュベーションを進めています。

BDGR は、様々な形態のデジタル通貨、ブロックチェーンコード/プログラミング、および強固な資産と在庫に裏打ちされた NFT のインキュベーターとなるために買収されました。このプロジェクトは、NFT の新機能に加え、物理的な在庫、マーケットプレイス機能、決済手段としての相互作用するサービスの実現に向けて市場が成熟するにつれ、従来の NFT の実装を超えた本格的な商業が可能になることを期待しています。

BDGR は、BDGR と PRPM の両株主グループに対する追加の「ボーナス」として、待望の NFT の発行と BlackDraco (B\$D) デジタルコイン (トークン) を発行する準備を整えています。

### 3.0 ロードマップ



- ① トークン鋳造      ② NFT 作成と配布      ③ ニュースメディアと FAQ のウェブサイト立上げ
- ④ 戦略的パートナーの発表      ⑤ 監査発表      ⑥ DAPP の株主インターフェース
- ⑦ DAPP を幅広く展開      ⑧ 新機能のリリース

### ロードマップ

1. 2021年7月 NFT カタログの作成
2. 2021年7月 トークン鋳造
3. 2021年8月 ガス料金効率化のための Matic のセットアップ
4. 2021 ネットワークのテスト
5. 10月 BDGR/PRPM シェアホルダーへの最初のトークンの配布
6. 2021年9月 NFT カタログの見直し
7. 2021年9月 [blackdracos.io](http://blackdracos.io) ユーザーシステム作成
8. 2021年10月 NFT 造幣のためのアートインベントリ準備
9. 2021年10月 ホワイトペーパー原案の配信
10. 2021年11月 NFT を鋳造するための美術品在庫 (100)
11. 2021年11月 NFT を鋳造するための Sky Jones の在庫 (400)
12. 2021年12月 マイケル・アンジェロ
13. 2021年11月 NFT マーケットプレイス開設
14. 2021年11月 Tokenomics トークノミクス完成
15. 11月 ホワイトペーパーの完成 (第一次候補公開)
16. 2022年までのロードマップを完成させる



17. 2021年11月20日 ソーシャルメディアの足跡を作成
18. 2021年12月 ホワイトペーパー リリース
19. エアドロップと配布の計画 (未定)
20. 11月 [blackdracos.com](http://blackdracos.com) 公開
21. 2021年9月 [blackdracos.io](http://blackdracos.io) ユーザーシステム作成
22. 2021年12月 [blackdracos.io](http://blackdracos.io) ウェブサイト ライブテスト
23. 2021年12月 [blackdracos.io](http://blackdracos.io) ウェブサイト本番
24. 2021年12月 マーケットメーカー
25. ローンチパッド (発売開始) (未定)
26. 2022年の第1四半期 (未定) 取引所
27. 2022年の第1四半期 プロジェクトの定義

#### 4. プラットフォームの使用例

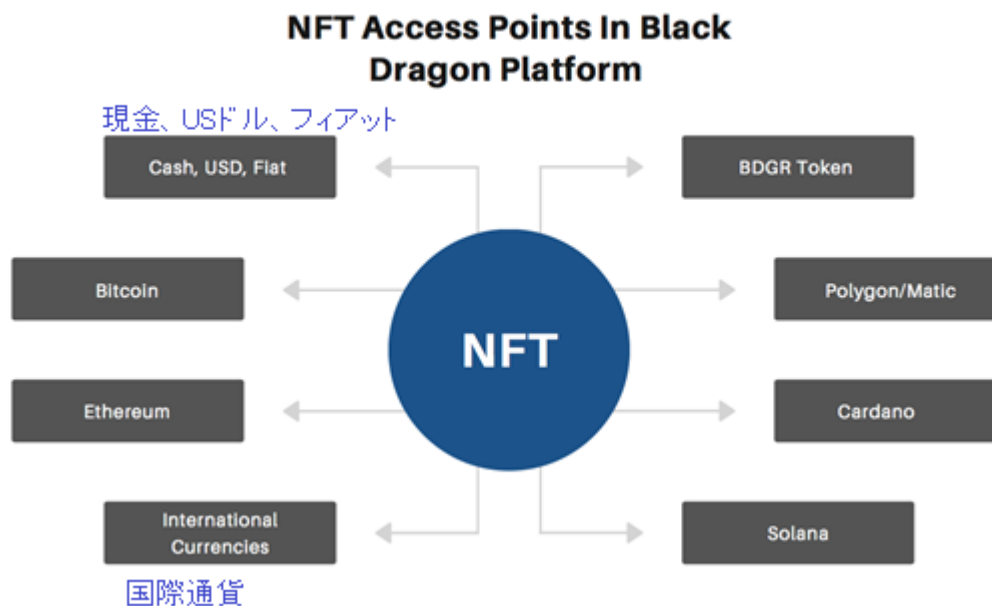
Black Dragon アプリの最初の実装は Web 3.0 ベースで、将来的にはモバイルおよびデスクトップアプリケーションのリリースを目標としています。全てのユーザーは、アプリ内のリワード、ステーキング活動、その他ブラックドラゴンのプラットフォームのユーティリティーに参加することができます。

1. 取引の検証
2. コンテンツの追跡
3. データおよび過去のイベントの整理
4. アートや NFT にアクセスするためのユーザーの役割の管理
  - フィアットでアートを購入し、NFT を生成する
  - NFT の生成
  - NFT を購入者のウォレットに移動
  
  - 美術品を暗号通貨 (BDGR/ETH/MATI/BTC) で購入し、NFT を生成する
  - NFT の生成
  - NFT を購入者のウォレットに移動する
  - 
  - BDGR<sup>4</sup>の購入 – ART とネットワークユーティリティーの購入のため
  - BDGR で美術品を購入し、NFT を生成する
  - NFT の生成
  - NFT を購入者のウォレットに移動

---

<sup>4</sup>BDGR またはブラックドラコス、ブラックドラゴンプラットフォームのトークンの現在の呼称ですが、実際には BDGR から別の名前前のシンボルに変更される可能性があります。さらに、そのトークンは、ドラコス・トークンという短い言及を維持する可能性が高いです。

## ブラックドラゴンプラットフォームの NFT アクセスポイント



### 4.1 ブロックチェーンによるコンテンツ制作

ポリゴンブロックチェーン上において、ブラックドラゴンのスマートコントラクトと一連のツールは、トランスペアレントで永久的、かつ分散型の管理・会計の未来を提供します。各作品のオリジナルの著作権署名と NFT との組み合わせにより、ブラックドラゴンは、オリジナルコンテンツの保有者であり、オリジナル作品や公認作品を保管するためのプラットフォームを公開しています。作品、著作権管理、交換の全チェーンを透明化することで、ユーザーに完全な保護を提供します。

関連業界のプロフェッショナルは、認証されたネットワークユーザーになることで、収益化、新商品のリクエスト、ブラックドラゴンのチームとのコミュニケーションといった特別な機能を利用することができます。

ブラックドラゴンは、さまざまなタイプのコンテンツクリエイターに利益をもたらすように仕立てられています。

- 制作プロフェッショナル：作品を見つけ、コラボレーションし、共有するための新しいネットワーク。アートやコンテンツの制作者がブロックチェーン上で作業することが可能。
- アート愛好家：マルチプラットフォーム対応により、クリエイターやライセンス保持者ではなく、アート作品のアップロードがシームレスになります。
- インサイダーとエキスパート：急速に進化している分野におけるリーダーシップに触れることができる。

## 5. テクノロジー

配当としての NFT は、私たちの研究開発の論理的な進展です。

ブラックドラゴンは、"ロードマップ"内の項目を含め、すでに以下の項目の達成に向けて動いています。

- データベース管理のための Web3 接続
- API 駆動のバックエンドとフロントエンド
- プレゼンテーション層には React を採用
- トークンのウォレット用アプリ
- Metamask メタマスク接続
- 統合の提供
- ブラックドラゴン NFT カタログ

### 5.1 チャンネルの開発

ブラックドラゴンプラットフォームは、3つの柱で並行して開発を進めています。

1. 著作権と NFT のコミュニケーションチャンネル。
2. 芸術とコンテンツの核心情報チャンネル。
3. スマートコントラクト・ブロックチェーンチャンネル。

### 5.2 機能

ブラックドラゴンプラットフォーム Black Dragon Platform は、トークンや NFT ユニットと対話するための複数の方法を備えています。現在、ブラックドラゴンプラットフォームは、Android、iOS、と Web のクライアントのサポートを目指しています。

ブラックドラゴンプラットフォームは、ブロックチェーンとスマートコントラクトにおいて、Polygon と深く協力する機会を備えています。修正された Bitcoin Core インフラと Ethereum Virtual Machine (EVM)の分解不可能なバージョンを組み合わせることで、Polygon は、ビットコインの揺るぎないブロックチェーンの信頼性と、スマートコントラクトが提供する無限の可能性を融合します。安定性、モジュール性、相互運用性を考慮して設計された Polygon は、信頼できる分散型アプリケーションを構築するための最も優れたツールキットであり、現実世界のビジネス志向のユースケースに適しています。そのハイブリッドな性質と、他に類を見ない PoS コンセンサスプロトコルを組み合わせることで、Polygon アプリケーションは、モバイルデバイスと IoT アプライアンスのネイティブサポートを提供しながら、主要なブロックチェーンエコシステムと互換性を保つことができます。

## 6. リスク

お客様におかれましては、ブラックドラゴンの購入、ブラックドラゴンの保持、およびブラックドラゴンプラットフォームへの参加のためのブラックドラゴンの使用に関連する多くのリスクがあることを認め、同意するものとします。最悪の場合、購入されたブラックドラゴンの全部または一部の損失につながる可能性があります。

### 6.1 不確実な規制と執行措置

ブラックドラゴンや分散型台帳技術の規制状況は、多くの法域で不明確または未確定であります。仮想通貨の規制は、世界のすべての主要国において主要な規制対象になっています。規制機関が既存の規制を適用したり、ブラックドラゴンやブラックドラゴンプラットフォームを含むそのような技術やアプリケーションに関する新しい規制をいつ、どのように作成するかを予測することは不可能です。規制当局の動きは、様々な形でブラック・ドラゴンおよび/またはブラック・ドラゴン・プラットフォームに悪影響を及ぼす可能性があります。当財団（またはその関連会社）は、規制措置、または法律や規則の変更により、当該管轄区域で事業を行うことが違法となった場合、または当該管轄区域で事業を行うために必要な規制上の承認を得ることが商業的に好ましくない場合には、当該管轄区域での事業を停止する場合があります。

幅広い法律顧問と協議し、仮想通貨の開発や法的構造を継続的に分析した結果、当財団はブラックドラゴンの販売に対して慎重なアプローチを適用する予定です。したがって、当財団は、トークンの販売において、関連する法的リスクを可能な限り回避するために、販売戦略を常に調整する場合があります。

### 6.2 不十分な情報開示

本書の日付現在、ブラックドラゴンプラットフォームはまだ開発中であり、そのデザインコンセプト、コンセンサスメカニズム、アルゴリズム、コード、その他の技術的な詳細やパラメータは絶えず頻繁に更新および変更される可能性があります。このホワイトペーパーにはブラックドラゴンプラットフォームに関する最新の情報が含まれていますが、完全なものではなく、ブラックドラゴンチームによって随時調整、更新される可能性があります。ブラックドラゴンチームには、ブラックドラゴンプラットフォームの開発プロジェクトに関するすべての詳細（開発の進捗状況や期待されるマイルストーンなど）をブラックドラゴンの所有者に通知する能力も義務もないため、不十分な情報開示は避けられず、また妥当なものであると考えられます。

### 6.3 才能の喪失

ブラックドラゴンプラットフォームの開発は、各分野で高度な知識と経験を持つ既存の技術チームや専門家コンサルタントの継続に依存しています。いずれかのメンバーを失った場合、ブラックドラゴンプラットフォームまたはその将来の開発に悪影響を与える可能性があります。さらに、チーム内の安定と結束は、ブラックドラゴンプラットフォームの全体的な発展にとって非常に重要です。チーム内での対立および/またはコア要員の離職が発生する可能性があります。

### 6.4 開発の失敗

デジタル資産、仮想通貨またはブラックドラゴンの価格が下落した場合、予期せぬ技術的な困難、活動のための開発資金の不足など、様々な理由により、ブラックドラゴンプラットフォームの開発が計画通りに実行または実施されないリスクが存在します。

### 6.5 セキュリティの弱点

ハッカーまたはその他の悪意のあるグループまたは組織が、マルウェア攻撃、サービス拒否攻撃、コンセンサススペースの攻撃、Sybil シビル攻撃、スマーフィング、スプーフィングなどに限定されず、様々な方法でブラックドラゴンおよび/またはブラックドラゴンプラットフォームを妨害しようとする可能性があります。さらに、第三者または財団のメンバーまたはその関連会社が、意図的または非意図的にブラックドラゴンおよび/またはブラックドラゴンプラットフォームの中核インフラに弱点を導入し、ブラックドラゴンおよび/またはブラックドラゴンプラットフォームに悪影響を与える可能性があります。なおその上に、暗号化とセキュリティーの革新の将来は非常に予測不可能であり、暗号化の進歩、または技術的進歩（量子コンピューティングの開発を含むがこれに限定されない）は、そのブロックチェーンプロトコルを支える暗号合意メカニズムを無力化することにより、ブラックドラゴンおよび/またはブラックドラゴンプラットフォームに未知のリスクを与える可能性があります。

### 6.6 その他のリスク

加えて、上記で簡単に述べた潜在的なリスクはすべてを網羅したものではなく、ブラックドラゴンの購入、保有、使用には、当財団が予測できないその他のリスク（特に利用規約に記載されている）が存在します。そのようなリスクは、前述のリスクの予期せぬバリエーションや組み合わせとしてさらに顕在化する可能性があります。お客様は、ブラックドラゴンを購入する前に、当財団、その関連会社、およびブラックドラゴンチームに対して十分なデューデリジェ

Black Dragon Ltd. ブラックドラゴン株式会社

[www.blackdracos.io](http://www.blackdracos.io)

ンスを行い、ブラックドラゴンプラットフォームの全体的な枠組み、使命、そしてビジョンについて理解する必要があります。

Contact Info (連絡先)

**Edward Vakser** (エドワード・ヴァクサー)

1712 Pioneer Avenue (パイオニア通り 1712 番地)

Suite 500 (スイート 500)

Cheyenne, WY 82001 (シャイアン, WY 82001 USA)

**214.418.6940** (電話番号)



編集後記：

- トークンの有用性
- ロードマップを拡大する
- **NFTS** の会計？
- 検討すべき **Polygon**
- 免責事項の検討
- 機能性の検討
- 作品を見せることを検討する